

## 22 医療社会福祉部



医療社会福祉部には社会福祉士・精神保健福祉士の資格をもつソーシャルワーカー10名が在籍する。医療支援センターでは、患者さんとその家族の抱える療養中のさまざまな課題への相談援助を行うとともに、退院支援や地域連携業務に従事している。また、認知症疾患医療センター、がん相談支援センターにも、専従各1名が相談業務に従事している。

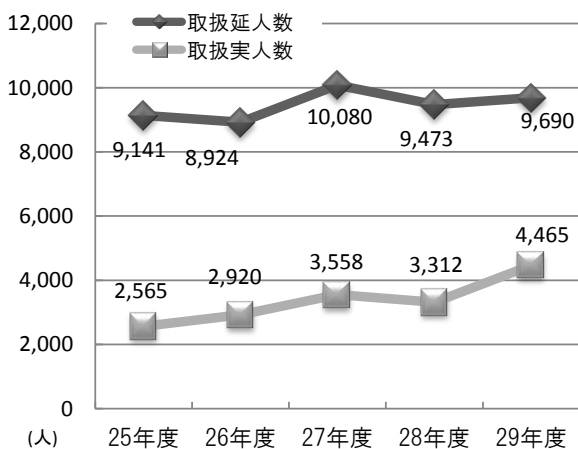
援助内容は、転院や在宅サービス調整等の退院支援、緩和ケア病院等への受診・受療援助のほか、経済的問題、介護問題や家族関係等の支援、就労や就学に関わる社会復帰支援等の心理・社会的問題である(22-2)。ここ数年は、課題が複雑かつ多様化し、DVや児童虐待が疑われる場合の行政や関係機関との連携、高齢者のみの世帯で社会的サポートが十分とは言えない方々への支援等、迅速かつ積極的に地域に関わっていく対応も求められている。

29年度の診療科別依頼延べ件数は、脳神経外科、救命救急センター、血液内科、小児科/NICUの順に多い(22-3)。救命救急センターやSCU病棟(各2名配置)では、ソーシャルワーカーが中心にスクリーニングを行うことで早期介入の退院支援体制が整備されてきた。

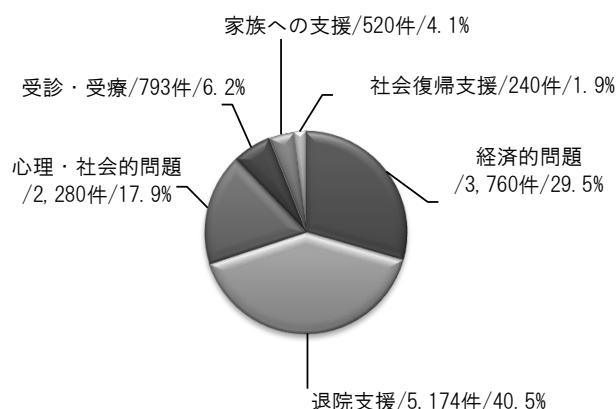
当院の機能を考慮するならば、今後各診療科による退院支援のニーズはますます高まることが推測される。そこで、29年度は退院支援部門が着実に介入できるよう、退院困難な要因を有する患者を早い段階で抽出することを目的に、入院前スクリーニングシステムにも力を注ぎたい。

また、院内多職種と協働し退院支援体制を強化し、患者さんと家族を中心とした地域包括ケアシステムを構築し、地域に暮らす患者さんが安心して生活に復帰できるよう院外の機関とも緊密に連携していきたい。

22-1 取扱人数の年度別推移



22-2 29年度援助内容の構成比率(合計12,767件)



22-3 29年度診療科別依頼延件数

区	分	件数	構成比率(%)	区	分	件数	構成比率(%)
循環器内科		155	2.0	整形外科		104	1.4
血液内科		747	9.7	形成外科		2	0.03
リウマチ・膠原病内科		188	2.4	脳神経外科		1,722	22.4
糖尿病・内分泌・代謝内科		78	1.0	皮膚科		37	0.5
肝・胆・膵内科		203	2.6	泌尿器科		399	5.2
消化管内科		165	2.1	産科婦人科		203	2.6
炎症性腸疾患内科		85	1.1	眼科		92	1.2
呼吸器内科		486	6.3	耳鼻咽喉科・頭頸部外科		118	1.5
神経内科		115	1.5	放射線科		1	0.01
腎・透析内科		194	2.5	麻酔科・疼痛制御科			
総合内科				歯科口腔外科		13	0.2
小児科/NICU		415	5.4	救命救急センター		1,164	15.2
外科		874	11.4	精神科神経科		11	0.1
心臓血管外科		53	0.7	合計		7,680	100.0
呼吸器外科		56	0.7				